



平成30年5月1日

看護師

5月が始まりました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。一方、連休が増えて生活が乱れがちになってしまうので、生活リズムを崩さないように注意していきましょう。



先月は、尿・蟯虫検査のご協力ありがとうございました。

今回は、蟯虫について説明したいと思います。

●蟯虫とは？

長さ1cmの白い寄生虫で、夜寝ている間に卵を産みつけます。感染するとかゆみ、睡眠不足、夜泣き、爪かじり、神経質などの症状が現れます。

●蟯虫検査で陽性がでたら？

医師と相談のうえ、駆虫剤を内服していただきます。また、家族全員内服します。

●他のひとにうつるの？

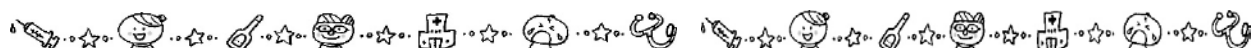
おしりをかいて卵がついた手でものを触ったり、着替えのときに空気中に卵がちらばったりして、ほかの人の口に入り感染することがあります。

●蟯虫を予防するには？

- ・手洗い、うがい、毎日の入浴など清潔に心がけましょう。
- ・卵が爪に付着し、感染することもあるので、爪はこまめに切りましょう。
- ・家の中は念入りに掃除機をして、室内は、清潔に保ちましょう。
- ・シーツや布団、毛布などは日光に当てて干す、また、室内でははたかないようにしましょう。

※指定日に尿・蟯虫検査検体を提出できなかった方は、後日、検体のモレ回収日をお知らせします。

◆4月は、腸炎が数名、溶連菌1名、リンゴ病1名引き続き体調管理に注意していきましょう。



★現在、園にてはしか（麻疹）への感染はありませんが、平成30年3月20日より、沖縄県で発生しているはしか（麻疹）について情報提供していきたいと思います。今回、県では4年ぶりにはしかが確認されており、注意をよびかけています。

★はしかは麻疹ウイルスによって、人から人へ感染します。感染経路としては空気感染、飛沫（咳やくしゃみ）感染、接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、はしかの免疫がない場合は、インフルエンザよりも感染力が強いと言われていいます。

★潜伏期間、7～12日発症初期には、高熱、咳、鼻水、結膜充血、目やに等の症状があり、発熱は一時期下降傾向を示すが、再び上昇し、この頃には口の中に白いぶつぶつ（コプリット班）が見られる。その後、顔や首に発疹が出現する。発疹は赤身が強く、やや盛り上がっている。やがて解熱し、発疹は色素沈着を残して消える。はしかは感染力が非常に強いので、ワクチンまだの児は早めに接種しましょう。